

カイゼン報告書

| | | | |
|------------|---|-------|------------|
| 提案番号 | No.23-2-2 | | |
| 提出年月日 | 令和5年10月27日 | 受付年月日 | 令和5年10月27日 |
| 所属 | | 職名・氏名 | |
| 提案件名 | 不用になった備前焼をリサイクル | | |
| カイゼン前の問題点 | <p>(何がどのように問題であったのか具体的に)</p> <p>使えなくなり、不用となった「備前焼」は、不燃ごみとして最終処分場で埋め立て処理されていた。</p> <p>埋め立て量：年間約250トン(内、備前焼約18トン)</p> <p>埋め立てに係る費用：年間約20,000千円(案分、約1,440千円)</p> <p>結果として、最終処分場の埋め立て量のひっ迫及び、処分に係る費用が発生していた。(1kgあたりの処理費=80円)</p> | | |
| 取組内容 | <p>(カイゼンした方法について具体的に)</p> <p>伊部駅前に備前焼回収ボックスを設置し、不用になり、捨てることしかできなかった「備前焼」について回収する場所を整備した。</p> <p>回収後の備前焼は新しい資源として、リサイクルが可能な再生業者に売り払った。</p> | | |
| カイゼンの効果 | <p>(効果について数量等を具体的に)</p> <p>今まで捨てることしかできなかった「備前焼」が新たな資源に生まれ変わることにより、SDGsの取組に繋がった。</p> <p>また、最終処分場の延命につながるとともに、売り払いにより市への歳入が増えることとなった。</p> | | |
| カイゼンに係る経費等 | <p>(金額、時間等)</p> <p><歳出> 計154,000円</p> <p>備前焼回収ボックスの購入費 154,000円</p> <p><歳入> 計4,318円</p> <p>備前焼を資源として売り払い 4,318円(kgあたり5円)</p> <p>【回収量(令和4年度10月~2月の5か月間)】=785kg</p> <p>従来 : 785kg×80円 = 62,800円(歳出)</p> <p>カイゼン後 : 785kg×5円×1.1 = 4,318円(歳入)</p> <p>(差額) +67,118円</p> <p>単純計算で、年間で+16万円程度差が出る見込み。</p> | | |
| 所属長意見 | SDGsの取組み、最終処分場の延命化、収益化など、複数の課題を同時に処理できる素晴らしい施策と考えます。 | | |

※「提案番号」「受付年月日」の欄は、記入不要です。

※「職名・氏名」の欄は、該当するものに「☑」してください。

※ 共同提案は、代表者以外の「所属」「職種」「氏名」を別添してください。

提案事項審査報告書
(カイゼン報告用)

| | | | |
|----------------|----|----|--------------|
| 提案番号 23-2-2 | 所属 | 職名 | 氏名 (個人または共同) |
|----------------|----|----|--------------|

| |
|-------------------------|
| 提案件名 不用になった備前焼をリサイクル |
|-------------------------|

| 問題意識 | 創造性 | 有効性 | 効率性 | 費用対効果 | 具体性 | 実現性 | 合計(総合評定) (22点以上で優秀賞) |
|------|------|------|------|-------|------|-----|-------------------------|
| 3.6点 | 3.0点 | 3.2点 | 3.0点 | 2.9点 | 3.4点 | | 19.1点 |

優秀賞に至らず

【職員提案審査委員意見】

- SDGsの観点からも良い取組。他にもリサイクルできるものがないか検討してみてもは。
- 割れた備前焼などを回収してそれを原材料としてリサイクル備前焼を造り事業者がいることから始まった取組みだと思う。市としてはPR面で、事業者としては安価で原材料が手に入るということで双方の効果は大きいと思う。処分場の残余量に関する効果はよく分からないが……。もっとPRしてこの事業の効果が上がるように工夫してほしい。また服のリサイクルなども市内の事業者や学校が取り組んでいるので、SDGsやごみ減量化につながる取組みとして市としてのサポートを検討してほしい。
- 現状把握して、今後を見据えた取組みになっていると思います。
- SDGsは全世界のテーマであり、限りある資源を再生利用することは重要な取組みです。処分場の延命化、収益化にもつながっているので、効果があると思います。
- そもそも「不用な備前焼」を再資源化できるのであれば、年間埋め立ての18tすべて再資源化できるのではないのでしょうか？また、備前焼は年間埋め立て量に対して約7%を占めていますが、残りの93%の見直しや検討をされたうえで例えば他の再資源化できるもの同様の対応の検討はされたのでしょうか？
- 「備前焼」にスポットを当てた備前市らしい施策ではあると思いますが、「カイゼン」という点で考えた際にやや評価が難しいように感じます。
- 日常業務における課題点を外部委託することなく、通常業務において対応していることは評価できる。
- 本市の現状を説明しているので課題の背景がより理解できる。
- これまで廃棄されていた物が新たな価値に変わるための仕組みをつくる姿勢は評価できる。
- 具体的な数値により改善効果と外部費用削減を示しており、説得力がある。
- 多くの人に知ってもらうために、本取組の周知、PRを幅広く行ってほしい。
- 一事業者の取組みであるが、市との連携も生まれ、備前市のPRへとつながっていることは喜ばしい。
- 市役所・公民館など、駐車場スペースがある場所での設置ができればもっとよかったと思います。
- 地域課題に取り組んだ素晴らしい実践だと思いが、取組内容、カイゼンの効果などが具体的でないため評価がしづらい。それなりの効果があることは想像できる。
- 備前焼の再利用は、最終処分場のひっ迫問題やSDGsの観点から有効であると考え。備前焼の回収量の増加、再生備前焼の再生素材使用率の向上、再生備前焼商品のラインナップの充実・販路拡大がかなうと、事業の継続につながると思うが、そのためにも効果的な広報活動が必要である。
- これまで「ゴミ」として廃棄の対象になっていたものを、再資源化するという視点は、SDGの取組の一環としても高く評価できます。ただ、回収ボックスが設置されているのは、伊部駅前のみでしょうか？そうであれば、リサイクル率がどの程度高くなるのかについては疑問があります。回収ボックス自体の価格も若干高い印象を受けます。また、回収ボックスの設置は、備前焼の振興という点からは、特に観光客の皆様に対し、ネガティブな印象を与えないか少々心配です。いずれにせよ、ある程度の期間が経過しないと、評価が難しい案件です。